

南監発第 47 号
平成 31 年 3 月 8 日

南小国町議会議長 平野 昭夫 様
南小国町長 高橋 周二 様
南小国町教育長 岩切 昭宏 様

南小国町代表監査委員 下城 宣夫
同 監査委員 穴井 千秋

平成 30 年度定期監査結果報告書

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により、平成 30 年度定期監査を下記のとおり実施しましたので、同条第 9 項の規定により報告並びに同条第 10 項に基づき意見を提出します。

記

1 監査対象課

総務課 町民課 福祉課 税務課 建設課 農林課 まちづくり課
会計室 保育園 教育委員会 給食センター 議会事務局
町内の各小・中学校

2 実施期日 平成 31 年 2 月 1 日 ～ 平成 31 年 2 月 20 日(内 7 日実施)

3 監査の方法

事前に関係部局より次の資料(1月1日現在)を求め、これをもとに実施した。

- ① 職員の配置及び事務分掌
- ② 補助金(負担金)交付調書
- ③ ④ 予算執行状況(歳入・歳出)
- ⑤ 工事の進捗状況
- ⑥ 公用車状況調べ

収入状況、支出状況については、適時調査をしている。

4 監査結果の報告及び意見

各課の調査結果では、一部の年度末支払いを除き、現時点での予算執行状況は全体的にはほぼ順調である。その中から今回の定期監査について報告する。

「事務分掌」

熊本地震・九州北部豪雨災害の影響により、職員の業務増、時間外勤務の増はまだ続いているようである。日頃の体調管理に気を付けて適宜休養を取り入れ、能率よく頑張っていたいただきたいと思います。今後の大きな災害に備え、限られた課だけにしわ寄せが出ないよう役場全体で対応できるような体制づくりが急務と思われる。また、CATV 更新事業、ローカルベンチャー事業、関係人口創出事業、ドローンプロジェクト事業と、新規事業が増えており、事業増加量に伴う適正な職員配置を望む。

「事務の遂行状況及び問題点」

各課ともに概ね歳入・歳出それぞれ順調に運営されているが、一部気が付いたことについて列記する。

- ① 収入状況では、水道・農集・公共下水道・住宅家賃・CATV 使用料・保育料・給食費・各種保険料・町税のすべてにおいて滞納が生じているが、徴収係の設置及び債権管理条例の制定により、関係各課連携しあって徴収を行っていることに伴い、過年度の滞納額が年々減少している。税等で徴収が不可能と思われるものについては適切に不能欠損されているが、不公平のないような事務手続きを希望する。また、本人に連絡のつかないものについては連帯保証人と交渉するなど、積極的な徴収業務を行っていただきたい。

調定については歳入が見込めるものは当初から計上すべきであり、調定額が無いのに収入があったり、調定額よりも収入済額が多い科目が依然として多々見受けられた。

また、事業が執行されているにもかかわらず、支出負担行為がなされていないものが何件も見受けられるので、適正な事務処理を望むものである。

- ② 備品については総務課にて一括して概ね適切に管理されている。
- ③ 公用車の利用状況は概ね適正に管理されており、年式の古い車については計画的に購入されている。新年度で購入替え予定の公用車は2台で、平成13年式と16年式である。それ以外にも10年以上使用している車が4台

あり、それらは日頃からの修繕料もかさむので、経済的・環境的に良好な公用車の購入を望む。

「補助金関係」

補助金等の交付については、町の規定により申請書・実績報告書・領収書等の添付書類は良好であるが、例年同じ団体に恒常的に支出されているものについては内容を特に精査し、今後も指導を徹底して頂きたい。

「工事関係」

平成 28 年の熊本地震に引き続き、平成 29 年の九州北部豪雨災害の影響で、多く繰越していた災害復旧工事も進捗率が進んでいるようだ。農林水産施設災害復旧においては、平成 29 年度分はすべて発注済で工事は終了しているが役場側の竣工検査等が遅れている。職員不足と考えられる。

「学校監査、保育園施設監査」

(保育園関係)

現地調査を行い、出納簿や備品台帳等を見て、概ね適正に整備されていることを確認した。昨年度、賄材料の発注伝票に業者側の誤りが見られたが、本年は概ね改善されていた。尚、注文書の用紙についてはわかりにくい部分があるため、現在の使用伝票の在庫を考慮し、使いやすいものに順次変更していくようにしてほしい。

園庭の整備，遊具については、専門の業者に委託し定期的に点検・確認されている。今後も園児の安全対策を講じていただきたい。

(学校関係)

現地調査を行い出納簿や備品台帳を見て、適正に整備されていることを確認した。それぞれの学校経営案により適切な運営が行われており、それぞれの特色が表れている。各学校に目立ったいじめ案件や困難事例などなく、日頃から児童・生徒に対して適切な指導がなされている結果と思われる。今後もそれぞれの教育目標に向かって努力してほしい。